



# 善正寺だより

〒:512-0902  
 三重県四日市市  
 小杉町1014  
 浄土真宗  
 本願寺派  
 善正寺  
 ☎:059-331-1670  
 fax:059-332-0733

## 掲示板法話

### 本願力に遇えば 空しからず

### 悲しみを無駄にはさせぬと願われて



長い猛暑に続いて、大型台風が迷走、停滞し、各地に被害をもたらしました。地球は温暖化の時代から沸騰化する時代に入り、残暑の期間が長引いて、秋は短くなるようです。何とも生きにくい時代になったものだと思きの声が聞こえます。

だが、我々一人一人のいのちには限りがある。長い流転を経てようやく人間のいのちを賜り、この世に生を受けたこのいのちの尊さに気づかず、むさぼり、怒りや愚痴に流されて人生を無駄に消化しては空しいですね。

葬儀のとき、正信偈のお勤めの後にお称えされるご和讃を御存じですか？

本願力にあひぬれば

むなしく過ぐるひとぞなき

功德の宝海みちみちて

煩惱の濁水へだてなし

(高僧和讃・天親讃)

意識すれば「阿弥陀如来(法蔵菩薩)の本願に遇う(知った、信じた)ことができたならば、それまでのように人生

を空しく過ぎることはなくなる。宝の海のような名号(南無阿弥陀仏)がその人の身に満ち満ちて、煩惱に濁った水が、そのまま清浄の海となるように、煩惱具足の凡夫も、(現生に、迷うことなく)必ず浄土に往生する身になる」という訳です。死後のあの世でなく、今この煩惱具足の身が、現実の苦悩を乗り越えて往生浄土の道が定まることを親鸞聖人は強調しておられます。

先年、お母さんが急に亡くなられた息子さん(50代)は、母の1周忌と父親の43回忌をそれぞれご丁寧に別個にお勤めの後、ご本山で帰敬式を受けたいと考えました。そして、彼が中学校に入る前に病死されたお父さんの名前を一字入れた内願の法名をお受けしたいと決意を固めました。本願寺のホームページからダウンロードされた申請用紙を準備して、住職の承諾書に署名捺印を願ってこられた彼は「父が早くに亡くなったので、母親にはいろいろ心配や苦勞をかけました。これから僕が仏教徒として人生を歩み、両親に感謝の心をお伝えしたいのです」と帰

## ☆行事ご案内☆

### 秋季永代経

9月23(土)24(日) 両日午後1時半

講師:九條孝義師(滋賀)

※お経開き(招待者)23日午前10時半

夕方5時の鐘撞き年中無休、誰でも撞けます  
ガムやチョコご褒美、現代っ子に心の教育を

報恩講 11月2日午後1時半、3日午前10時、

3日午後1時三全仏教婦人会「報恩講」

講師:梶原佑倅師(北海道)

元函館商工会議所会頭から布教使に!

全国布教同志会北海道支部長

善正寺ホームページ三重善正寺で検索、過去の寺報閲覧可。毎日更新ブログ住職と坊守のつれづれ日記大好評。開始15年で投稿数1万記事達成。総訪問者数41万5千人。悩み仏事相談お気軽にメール電話を

一線会テレホン法話 ☎059-354-1454

3分間法話。三重組5か寺が週替わりで担当結成40年

新納骨堂後継者の無い方墓でお困りの方寺にご相談を!

法事場所でお困りの方本堂使用可、寺にご相談下さい

三重組連研 ZOOM オンライン会場: 9月27日夜善正寺

敬式を受ける動機を語ってくれました。因みに、彼はご本山の帰敬式の時、帰敬文という、決意表明を述べる大役を頂き、一層仏教徒として生きる決意を新たにしたいそうです。

母親の急逝と御葬儀が彼にとつて「本願力に遇う」仏縁となったのです。悲しみを無駄にはさせないぞ、との仏願の尊さを改めて知らされたことです。

## ☆ 写真アラカルト ☆

「善正寺ホームページ、トップ画面。更新情報、過去20回分(写真・文)見られます。

# 坊守スケッチ

ごじよくあくせ

## 五濁悪世の現代



朝垂坂山を散歩する時、私は50首程の和讃を住職と交互に唱えています。好きな和讃は「五濁悪世の我らこそ金剛の信心ばかりにて長く生死を捨て果てて自然の浄土に至るなれ」です。五濁とは劫濁・見濁・煩惱濁・衆生濁・命濁の5つの汚れです。特に劫辱(こうじよく)は飢饉や疫病や争乱等の社会悪で、親鸞聖人の時代に『末法』と呼ばれた所以です。

思えば現在の私達も『劫辱』(現代版末法)の真只中ではないでしょうか? 3年に及ぶコロナ禍を経験し、ロシア対ウクライナの戦争は終息の目途が立たず、地球温暖化の影響で食糧不足と経済危機、一触即発の核戦争懸念等、一寸先は闇の状態です。世界規模の危機ばかりではなく、私の周囲には過去に経験したことのないような、悲惨な事件が次々に起こっています。母親が我が子を虐待した事件、親の年金を使っていた息子が老親を殺した事件、歌舞伎俳優の両親心中ほう助事件、札幌すすきの首切り事件等、恵まれた家庭のどこに事件の闇が潜んでいたのでしょうか? 一般家庭でも、家族の夫々がスマホを持ち、一日中スマホ画面を見ながら自分だけの世界に没頭しています。かつては家族団らんの時間も

マチマチ。ましてや年に二回のお仏事(盆参りと報恩講)のお勤めも怠りがち。葬儀は業者任せの価格競争となり、先祖が大切にしてきたご縁の糸は切り捨てて、寂しい時代になりました。若者はスマホのAIに聞けば大丈夫と思いますが、地域やご先祖が築いてきた苦勞と智慧は伝わりません。どうか家族揃って仏事をお勤めすることで、現代の五濁悪世から抜け出しましょう。初めから濁った水の中にと、それが当たり前になって、濁り水から抜け出せることも知らずに、我欲にまみれた人生を空しく終えます。

仏様の教えに出会ってこそ、迷いの世界から抜け出て、清らかで光り輝く安心できるお浄土へと導かれるのです。

### お悔み申し上げます

★服部孝夫様(90歳)7月11日

往生 小杉 合掌

★服部八州宏様(85歳)7月23日

往生 本郷町 合掌

### お知らせ

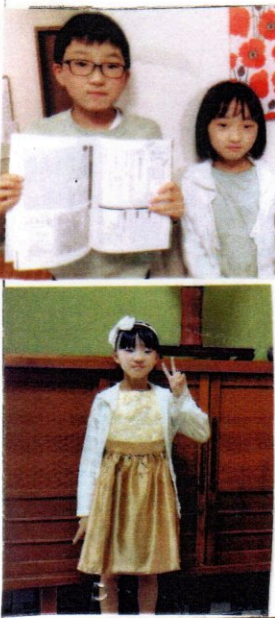
※秋季永代経は、近年の猛暑で9月23・24日の午後に移動しました。  
※本年度門信徒会費納入に、皆様よりご協力を頂き、厚くお礼申し上げます。

### 若坊守の子育てアルバムNo.104

夏休みです。連日の酷暑にうんざりですが、皆様は如何お過ごしですか? 夏休みが始まる前から、子ども達は様々なイベントや作品募集の案内チラシを学校でもらってきます。その中に駅前デパートで開催されるワークショップに関心を持った長女(小三)は、仲良しの友達と「夏休み中一緒にいこう」と約束しました。

チラシを詳しく見ると、ハーバリウムや食品サンプル、キャンドル作りと女の子の好きそうな可愛らしいものがたくさん! お友達と「どれを作りたいか」、「いつなら行けるか」を相談して、熱心に私にプレゼンするので、その熱意に応えなければ、とお友達のお母さんと何とか連絡先を交換し、日程を決めることができました。

毎年、こういったイベント案内や様々なチラシを見る度に「これもいいな、あれも面白そう」と目移りします。しかしいざ夏休みが始まると、朝からの酷暑と雑事に行く気が失せてしまい、後で悶々としてしまうという悪循環です。ここから抜け出すにはどうしたら良いのやら…。ともかくにも長い休みを少しでも有意義なものにしてあげたいと思う母心です。



### カンパありがとう

柴田美津代様、他匿名様、感謝!

### 俳壇

汗絡む細い白髪絹の糸 釋妙水  
夏休みニユース一番水の事故 老いてなおランチ楽しむ夏座敷 釋楽邦  
空を切る高速道路夏燕 高層階夜景彩る花火かな 炎天下もの皆黙す屋下がり 釋住安  
広島の平和宣言夏の空 玄関に南部風鈴吊しけり 熱帯夜音の近寄る救急車 釋普教  
蝉時雨わが天命を言祝ぎて さくらんぼ摘む手指の白さかな 二階屋のはちきれそうな夏休み 稔粟に腕白坊主を重ね見る TS  
火を点けた線香花火に思い馳せ 空蟬の排水口に一つ落つ 釋秀龍  
夕焼けの校舎に干さるビート板 めんつゆを薄める母よ蝉時雨 墓前にて佇む背に蝉時雨 釋清風  
端居して微かな風に身をまかせ お散歩の犬も団扇であおがれて

### ☆ 編集子より ☆

「善正寺だより」357号をお届けします。◇過去最高の猛暑は地球沸騰化時代と言われ、この気象異常が当たり前となる恐ろしさが予感されます。◇異常は気象だけでなく、人間世界のおぞましい事件、事故にも震撼させられる。◇だが、人生は短く、急がねばならぬのは「後生の一大事」。唯念仏。

お金も過ぎ今年も残り4ヶ月、住職と私も人生の最終コーナーの年齢に差し掛かり、今後の寺院活動を如何にすべきかを模索中です。一方記録的猛暑や線状降水帯による集中豪雨と経験したことのない自然災害が頻発しています。天災のみならず人災も過去に例のない事件が多発しています。嘆いてばかりでは解決策は見つからぬと反省する日々です。ただ一つ嬉しいことは、毎日更新しているブログ「住職と坊守のつれづれ日記」の投稿数が、8月1日で開始以来遂に一万回に到達しました。ごくありふれた日常生活をウェブ上で公開しています。が、ご門徒様たけではなく誰でも自由に訪問して頂くことで、善正寺に関心を持って下さる方が大勢いて有難く思っています。仏法が現代に伝わりにくい時代に、毎日のブログ発信は、今のお寺は如何にあるべきかを考える時間でした。毎日のブログが15年間、毎月の寺報が30年間継続し続けることは、住職と私の協力し人生の充実期でもありました。

お寺にとって厳しい時代を迎えました。が、今後も皆様との距離を縮め「開かれた寺」として存続し続ける様に増々精進いたします。寺報30年、ブログ15年の積み重ねは、日々の生活を阿弥陀様の光に照らされて丁寧に関わり続ける、皆様からお育てを頂いた貴重な時間だと、心礼を申し上げます。尚9月23、24日は「秋季永代経」をお勤めします。皆様の御参考詣をお待ち申し上げまふ。

合掌

令和5年9月

善正寺坊守 拝